

【レジユメ (フランス語論文)】

Le pouvoir féminin dans *Le Contrat de mariage de Balzac*
(*Études de Langue et Littérature Françaises* No.78, 2001, pp.84-100)

Kyoko MURATA

本論文では、バルザックの『結婚契約』(*Le Contrat de mariage*)において、父権制に基づく結婚制度に異議申し立てをしたばかりか、男の持つ力を自らのものとして権力を手に入れようとする母娘の姿を浮き彫りにした。それと同時に、二人の関係とバルザック流の「悪魔との契約」の結びつきを明らかにした。さらに『人間喜劇』において、この小説で初めて、セクシュアリテと深く結びついた女性の力が描かれ、それが後の作品（『娼婦盛衰記』『従妹ベット』など）につながっていくことを指摘した。